

膝、肘、肩…の炎症 切らずに緩和「PFC—FD療法」



田中 孝明院長

土佐整形外科(高知)

近年、自分の血液から抽出する溶液を患部に注射する「再生医療」が導入されて関心を高めています。どのような療法があるのでしょうか？

◆再生医療とは、自分の細胞や組織を利用して、病気の事故や失ってしまった組織の機能回復を目指す医療です。再生医療の代表的なものは、血液を活用した「PRP療法」です。PRP療法は、血液を抽出し、血小板を濃縮して、血が止まりやすい状態に治ります。これは血液中に含まれる血小板の働きによるもので、組織修復能力のある成長因子が血小板から放出されるためです。この働きを利用したのがPRP療法になります。整形外科領域では世界的に普及しており、米大リーグで活躍している大谷翔平選手やプロ野球・楽天の田中将大選手がその治療を受けたことで注目が集まりました。

▲さらに進化した治療が「PFC—FD療法」や「APS療法」になります。

PFC—FD療法はPRP療法からさらに成長因子を取り出し凍結乾燥(フリーズドライ)したものです。APS療法とは自己たんぱく質溶液のこと。血液から炎症を抑える良いたんぱく質と、軟骨の良好な状態を維持する成長因子を、高濃度に抽出したものです。

▲注意すべき点はありますか？

◆注意してほしいのは、従来の保存療法ではなかった治療効果が見込める再生医療ですが、再生医療が万能というわけではありません。患者さんによって治療の効果が異なります。時には効果を得ることができず手術が必要になることもあります。また、自由診療なので自己負担額が高額になります。

シリーズ 地域医療を考える

APS療法は関節に特化した治療ですが、PFC—FD療法は筋肉や腱の付着部、靭帯など運動器のほとんどに適用があります。

最近では、幹細胞を用いる方法も注目を集めています。幹細胞とは体内にある細胞で他の細胞に代わる能力を有する複製できる能力を持っています。その能力を用いて脂肪や滑膜から細胞を採取して培養し治療を行う方法も始まっています。

土佐整形外科(高知市朝倉甲)では、関節内の炎症を抑制し、痛みや腫れを緩和する効果が、より期待されている「PFC—FD療法」を取り入れています。今注目の「再生医療」の研究から生まれた治療法で、自分の血液を濃縮させた液体を患部に注射し痛みを抑える。自分の血液を使うことから安全性が高いという。手術を希望しない、もしくは手術をしたくてもできないという患者の選択肢にもなっている。膝関節疾患・スポーツ障害を専門としている田中孝明院長(45)にどのような治療法なのかを聞いた。

【毎日新聞高知支局長・行方一男】

自己血液活用 治療力を促進

変性疾患治療にも

—近年よく耳にする「変性性膝関節症」とは、どのような病気なのでしょうか？

◆変性性膝関節症とは、膝関節の軟骨が少しずつすり減ってしまい、骨が変形してしまう病気です。初期には、立ち上がりや歩き始めの痛みが生じます。休めば痛みが取れますが、正座や階段の昇降が困難となり、末期には、安静時にも痛みが取れず、膝がピンと伸びず歩行が困難になります。膝が伸びないと腰部やほかの部位にも影響し痛みをもたらします。

原因としては関節軟骨の老化によることが多く、肥満や遺伝子も関与しています。また骨折、靭帯、半月板損傷などの外傷、化膿性関節炎などの感染の後遺症として発症します。高齢者になるほど罹患率は高くなり、男女比は1:4で女性に多く見られます。

チェックポイント

- スポーツ外傷にも適応
- 体への負担や副作用が少ない
- 手術せず日常生活を送りたい

◆即効性はありますか？

◆治療の対となる患者は？

◆安全性は心配ありませんか？

◆患者様ご自身の血液から製造するので、他人の組織から使った治療や薬物による治療と比べると、拒否反応や感染リスク、その他の副作用が少ない治療と言えます。注入後3~4日は治療部位に伴う炎症症状として痛みや腫れなどを感じる時があります。

◆加工については、再生医療等安全性確保法に基づき、厚生労働省の特定細胞加工物製造許可を取得した施設に委託しています。そのため一定の

1年ほど持続します。骨の変形や病気の状態により異なりますが、約6~7割の患者さんに痛みが軽減、症状の改善、日常動作のストレス改善、スポーツ機能の改善が認められると報告されています。

◆安全性は心配ありませんか？

◆患者様ご自身の血液から製造するので、他人の組織から使った治療や薬物による治療と比べると、拒否反応や感染リスク、その他の副作用が少ない治療と言えます。注入後3~4日は治療部位に伴う炎症症状として痛みや腫れなどを感じる時があります。

◆加工については、再生医療等安全性確保法に基づき、厚生労働省の特定細胞加工物製造許可を取得した施設に委託しています。そのため一定の

自由診療 費用はHP参照

—貴院の治療の流れについて教えてください。

◆問診・診察・画像検査をさせていただきます。そのうえでPFC—FD療法について説明し同意書に署名をしていただきます。患者様ご自身の血液を約100cc採取します。厚生労働省より承認を受けた施設へ郵送し、検査・加工を行います。約3週間後に製剤が届いたら当院から連絡をさせていただきます。次回受診日を15万円、2回目以降は約3万円となります。詳細はHPを参照してください。

◆全国的に約15万~20万円くらいになります。当院での料金は膝などの大関節では1回コース(6回)で約16万円になります。小関節・腱・靭帯は2回(3回)コース、3回(2回)コース、6回(1回)コースの3コースでは初回約15万円、2回目以降は約3万円となります。詳細はHPを参照してください。

治療の流れ



「PFC—FD療法」を行っている高知市朝倉甲の土佐整形外科

社会医療法人 近森会
近森病院
救命救急センター 基幹型臨床研修病院
地域医療支援病院 地域災害拠点病院
〒780-8522 高知県高知市大川筋一丁目1-16
TEL/088-822-5231 (代表)

三本聖典税理士事務所
(株)西岡会計事務所
〒780-0821 高知市桜井町1丁目7番16号
TEL(088)884-1123(代) FAX(088)884-1802

義肢装具製作
(有)VITAL-FUSS-KOCHI
バイタルフス高知
〒781-8123 高知市高須857-8
TEL 088-861-2332 FAX 088-861-8550

電話交換設備・販売・施工・保守
IP電話システム/OA機器/LAN配線工事
新進電気販売株式会社
代表取締役 浜田 展吉
高知市潮新町2丁目16番11号
TEL(088)832-1212 FAX(088)832-1080

衛生環境を整える
DUSKIN
(株)ダスキンサニーマート
代表取締役 西山 彰一
〒781-8121 高知市葛島4丁目10番5号
TEL(088)883-2000 FAX(088)803-7738

クルマ選びにもっと感動とワクワクを！
高知トヨタ
トヨタワー土佐道路店
〒780-8061 高知市朝倉甲4番8地1
TEL:088-844-0336 FAX:088-844-0317
URL:https://kochitoyota.co.jp

みんなの夢を創りつづける。
有限会社 **創**
高知市鴨部878-21
TEL(088)840-6616
FAX(088)840-6681
建築事務所 代表取締役 門田 義仁

◆営業種目◆ 浄化槽維持管理清掃
高知市許可業者
(有)シー・エス高知
〒781-8016 高知市南ノ丸町12番地9
TEL(088)832-2555 FAX(088)831-0086

四国医療サービス株式会社
代表取締役社長 吉永 英人
高知県高知市南竹島町35番地
TEL(088)833-3552 FAX(088)831-2040

全国をネットする医療廃棄物総合処理センター
自社による集荷焼却再処理までを、トータルに創造する環境プランナー
四国メディカルトリートメントセンター
高知支店
〒781-5103 高知県高知市大津乙2432-4 TEL(088)866-7400 FAX(088)866-6644

義肢・補装具制作
かなへ義肢製作所
高知支社/高知県高知市東城山町143-7 TEL(088)831-8832
徳島本社/徳島県徳島市中昭和町3丁目9 TEL(088)652-5719

地域医療の発展を願っています

